

令和6年「市民と議会のわがまちトーク」報告書

産業建設委員会

開催日時	令和6年4月20日(土) 午前10時から11時30分まで
開催場所	中総合会館 4階 ホール
テーマ	有害鳥獣対策について ～捕獲と処理～
参加市民	25人
出席議員	担当委員会：産業建設委員会 尾関善之、今西克己、仲井玲子、福本明日香、松田弘幸、南正弘 サポート委員会：総務消防委員会 上野修身、西村正之、小西洋一、眞下弘明、水嶋一明、山本治兵衛 オブザーバー 上羽和幸 議長、田畑篤子 副議長

内 容

【全体概要】

多様な視点から御意見をいただくため、次のような方々に御参加いただくこととし、事前に有害鳥獣による被害と対策の状況に関する資料を送付することにより、一定の御理解をいただいた上で、当日に臨んでいただいた。

- (1) 有害鳥獣捕獲班員
- (2) 認定農業者
- (3) ジビエ関連事業者
- (4) 有害鳥獣の対策を講じている市民
- (5) テーマに関心を持つ市民（公募）



当日は、有害鳥獣対策の現状と考えられる課題のほか、参加者の皆様から御意見をいただきたい事項について説明した上で、各グループで「捕獲」と「処理」に関してどのような課題があるかについて意見交換を通じて共有し、その解決策としてどのようなことが考えられるか、また、行政が実施すべき支援や施策を検討した。

各グループの意見交換の内容は、以下のとおり。

1班 担当議員：今西克己 市民参加人数：5人

《課題として共有した内容》

【捕獲】

- ・ 猟友会員、捕獲班員、捕獲従事者の減少と高齢化
- ・ 猟友会員の減少と高齢化による地域のカバーエリアの偏在化
- ・ わな猟、はこわな猟の設置と捕獲管理
- ・ 捕獲獣種別毎の捕獲技術の向上と研修
- ・ わな猟等捕獲場所の再考



【処理】

- ・ 捕獲個体の埋設処理の現状
- ・ 捕獲個体毎の埋設手法と埋設場所
- ・ 一時保管庫の機能改善と増設
- ・ ジビエ、ペットフード、飼料等への多角的な活用
- ・ 市独自の焼却処理施設の建設
- ・ 既存の可燃ごみ焼却施設を利用した混焼処理

《課題の解決策に関する意見》

【捕獲】

- ・ 猟友会員、捕獲班員、捕獲従事者を増員するための現状認識と、各猟友会に対する理解
- ・ 猟友会員の偏在化を防ぐための地域における理解促進
- ・ わな猟、はこわな猟の設置への地元理解と技術指導
- ・ はこわな猟の餌の工夫と改善

【処理】

- ・ 埋設処理への地元理解と機械化による集約化
- ・ ジビエ、ペットフード等への活用と販売先の拡大
- ・ ジビエ、ペットフード等への活用には多くの自治体に取り組んでおり供給過多の傾向がある。
- ・ 年々増加して行く有害獣を想定すると市独自の焼却処理施設を市内に建設する。
- ・ イニシャルコストとランニングコストの低価が期待される持続可能な既存の可燃ごみ焼却施設を利用した混焼処理

《行政が実施すべき支援や施策に関する意見》

【捕獲】

- ・ 猟友会員、捕獲班員、捕獲従事者の育成と研修の実施
- ・ 獣種毎の捕獲報償費の増額支援

- ・ 防除に使用しているワイヤーメッシュで囲っている休耕中の 10 a 規模の水田（畑）を活用した多頭数捕獲への理解と補助

[処理]

- ・ 埋設処理に対する埋設場所の確保と機械化の支援
- ・ ジビエ、ペットフード等への活用による販売先の確保と販路拡大
- ・ 中丹地域処理施設の実情と将来の運用状況を踏まえると、年々増加していく有害獣の処理に対応するためには、市独自の焼却処理施設を市内に建設するしかない。
- ・ 市の可燃ごみ焼却施設を活用した混焼処理は、投資的経費も安価、持続可能な処理方法であり、実施に向け地元住民理解を得るなど検討していくべき時期と思われる。

2班 担当議員：仲井玲子 市民参加人数：5人

≪課題として共有した内容≫

[捕獲]

捕獲ではないが、現在の課題として

- ・ 個人での柵の設置にお金がかかる
- ・ 大掛かり柵の隙間から入ってくるので有効性に疑問
- ・ 電気柵の点検、見回りが大変
- ・ 防護柵の周辺は草刈機が使えない

捕獲の課題として

- ・ ぬかが足りない
- ・ 捕獲と処理のバランス（捕獲量が多すぎる）
- ・ 捕獲後の運搬が大変
- ・ 猟期中の埋設に手間がかかる

[処理]

- ・ 獣医など専門家が必要
- ・ 解体時、マダニやシラミの危険
- ・ ジビエに供するのがいいが、供給過剰となる
- ・ 解体、熟成、冷凍の設備が必要



≪課題の解決策に関する意見≫

[捕獲]

防護策として

- ・ 山を囲うべき
- ・ ブロックごとに囲う

[処理]

- ・ ジビエの店を増やす
- ・ 海上自衛隊でジビエ料理を出す

- ・ ドッグフードなど
- ・ イノシシは美味しいので、試食会で広く知ってもらう

《行政が実施すべき支援や施策に関する意見》

【捕獲】

- ・ 猪と鹿については柵が有効だが、個人ではお金がかかるので補助金が必要

【処理】

- ・ 赤れんがでジビエイベントをして市民に慣れてもらう
- ・ 市営で解体処理施設を設置し、肉を各飲食店へ
- ・ 解体設備を設置し、ジビエ料理を市の特産品に
- ・ 市営でなくとも解体処理の会社が必要
- ・ 猟期中にも冷凍庫の使用を可能に

3班 担当議員：福本明日香 市民参加人数：5人

《課題として共有した内容》

【捕獲】

- ・ 実態がほとんど知られていないため、イメージとして、怖い・したくない・かわいそうといったマイナスのものが多くなっていた。始め方が分からないという意見もあった。そのようなところから、捕獲者のなり手不足に繋がっている。
- ・ 女性ははなから難しいという印象がある。
- ・ まき狩りでは、捕獲者の人数が少ないと、間をすり抜け、なかなか捕獲できない。
- ・ 多く罠を仕掛けると見回りが大変。また罠も大きく、運べない。



【処理】

- ・ ジビエの普及には、無理がある。
- ・ 山の中で埋設処理はとても大変。掘るのが大変。
- ・ 処理作業が重労働で汚れが負担。
- ・ 冷凍庫いっぱい肉が市場に出ないから、ジビエの肉は高価なまま。しかし、食肉として活用するには基準が厳しい。

《課題の解決策に関する意見》

【捕獲】

- ・ 捕獲をする魅力の発信を積極的に行う。
- ・ 女性でも出来るということをアピールする。
- ・ 罠のほうが捕まる。
- ・ 防護柵の設置で、最近被害が少なくなった。有効。

[処理]

- ・ 緩衝帯の維持管理
- ・ 捕獲檻を、固定式から、移動式にすることで、場所が変えられる。
- ・ この話し合う場に高校生等若い子と呼ぶ。
- ・ 市から動物園へ交渉し、えさとして利用してもらう。

《行政が実施すべき支援や施策に関する意見》

[捕獲]

- ・ 畑などを覆う丈夫なネットの購入助成
- ・ せめて、その後の定着へ続くために、まずは1年でも、若い捕獲員に生活が安定するだけの補助金を支給する。

[処理]

- ・ 補助金のお願い。
- ・ 個人でも、ジビエ肉を加工して、ジャーキー等販売している人が居る。その人をバックアップして、販路と消費を拡大する。
- ・ 冷凍庫で対応してくれる職員さんが午前中くらいはいてほしい。

4班 担当議員：松田弘幸 市民参加人数：5人

《課題として共有した内容》

[捕獲]

- ・ 猿の捕獲が難しい。小動物用の檻が小さくなった。
- ・ ワイヤーマッシュの目が大きくて動物が入る。
- ・ 捕獲した鹿を熊に食べられる。
- ・ 捕獲員の高齢化が進んでいる。高齢化による人員の不足。
- ・ 罠の使用法とお金がかかる。捕獲員の多い地域があり、捕獲が用の罠がしかけられない。このことから有害鳥獣対策の戦略等の見直しが必要では。



[処理]

- ・ 猿の処理が分からない。
- ・ 処分員の確保や有効活用する場合の調理に課題がある。
- ・ 有効利用するために短時間での処理ができる施設と保冷が必要である。

《課題の解決策に関する意見》

[捕獲]

- ・ 猿に対しては、落とし檻で捕獲するとよい。
- ・ 小動物用の檻を大きくする。
- ・ 熊に対しては、深く掘った穴に素早く埋めることと民家近くで捕獲された熊は処分できるが遠くでとれた場合は、一度森に返すことが増えているので処分許可を出す。

- ・ 捕獲委員の負担軽減策（事務処理の簡素化、捕獲作業の分散化）、地域間の連携・協議等密にすることや有害鳥獣対策の戦略等の見直しをする。

[処理]

- ・ 小さくして一般ごみと混載して焼却をする。
- ・ 埋設の穴を大きく深く掘る。
- ・ 舞鶴市内でペットフード用の加工施設をつくる。
- ・ 減容化施設（飼料、肥料）を舞鶴につくる。

≪行政が実施すべき支援や施策に関する意見≫

[捕獲]

- ・ 猿に対しては、落とし檻を多く設置（高齢化が進んでいるので餌やり、管理もしていただきたい）。
- ・ 小動物用の檻を大きくする。
- ・ 熊に対しては、処分許可を出す。

[処理]

- ・ 有害鳥獣を小さくする施設をつくり一般ごみと混載して焼却をする。
- ・ 行政が重機を使って埋設の穴を大きく深く掘る。
- ・ 舞鶴市がペットフード用加工業者を誘致する。
- ・ 減容化施設（飼料、肥料）を舞鶴市がつくる。

5班 担当議員：南 正弘 市民参加人数：5人

≪課題として共有した内容≫

[捕獲]

- ・ 猟友会員（捕獲班員）の高齢化による体力的な問題（運搬等）
- ・ 基本的には自分の畑を守るため。
- ・ お金（収入）にならない。

[処理]

- ・ 自治会としての対応が難しい。
- ・ 処理施設や業者の問題



≪課題の解決策に関する意見≫

[捕獲]

- ・ 誰でも取れるようにする（無免許）。
- ・ 避妊薬を混ぜた餌を撒く

[処理]

- ・ ペットフードして再利用する。
- ・ 肥料として使えないか。
- ・ 混焼処理

《行政が実施すべき支援や施策に関する意見》

【捕獲】

- ・ 専門のチームをつくる。
- ・ 市が積極的に広報する（現状では不十分）。
- ・ 移住される方に捕獲員になっていただく。

【処理】

- ・ ペットフード企業の誘致
- ・ ジビエとして海外に輸出（日本ブランドとして）
- ・ 北海道のように微生物で分解できる施設をつくる。

【今後の予定】

出された意見をもとに調査研究を進め、行政が実施すべき支援や施策などを整理して、市への提言を目指す。